

おぢやの農産物を市民にPR 農業・JAをより身近に



10月23日(日)、おぢや農林まつり実行委員会(以下、実行委)は、「2016おぢや農林まつり」を、JA小千谷車輛農機センター前広場と、JA片貝車輛農機センター前広場の2会場で開きました。

農林まつりは、生産者と消費者が共に収穫を喜び、地産地消の場として毎年開いています。また食と農業の大切さを伝える活動の1年間の総仕上げの位置付けでもあります。今年は両会場あわせて約3000人が来場し、多彩なイベントを楽しみました。

市民らと一緒に収穫の秋

を祝おうと、会場には、「小千谷産魚沼コシヒカリ」や生産者が直売する「ダイコン」、サトイモ、養液土耕栽培トマト(元市長谷井さんの養液土耕栽培トマト手記がPR6)に好評連載中です)などの地産産野菜が並び、購入客でにぎわいました。

JA青年部とJA女性部が協力し、餅を搗いて振る舞ったほか、女性部が手作り菓子や五目おこわなどを販売し、人気を集めました。城川支店も支店協同活動の一環として、販売コーナーを出店。新鮮な野菜をふんだんに使ったトン汁や新米

のおにぎりを販売し、組合員や地域住民と交流を深めました。

ステージでは、糸魚川市出身の猪俣ひとみさんや篠笛とギターのデュオSor aのミニライブ、バルーンアーティストminaさんのパフォーマンス、本格漫才コンビジャックポットのトークショー、真人遊舞会とJA越後おぢや凜のよさこい演舞などを披露。子どもたちも、じゃんけん大会やお米の品種当てクイズなどを楽しみました。



▲JA青年部各支部のおもしろかかし



▲城川支店の
貝だくさんトン汁



▲子供達に大人気バルーンパフォーマンス



▲凧と真人遊舞会の華麗なよさこい演舞



▲大盛況の取れたて小千谷産野菜販売コーナー



▲ジャックポットの爆笑漫才



▲JA職員「おぢや元気」のライブ



▲同時開催「錦鯉品評会」の
特別企画「オーナー鯉」当選者の皆さん



▲恒例、青年部女性部協同の搦きたて餅振る舞い